

# シンポジウム『姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る』

## 1. 開始趣旨

千葉県市川市にある国史跡の姥山貝塚は、全国的にも有名な縄文時代の貝塚です。大正15年、この貝塚で発掘された竪穴住居跡の床面から5体の人骨が出土し、死因や相互の関係、埋葬の有無などをめぐって、議論が巻き起こりました。今回は、この住居跡（B9住居址）出土の人骨を中心として、自然人類学の研究成果や最新のDNAによる分析結果から、新たな解釈の可能性を探ります。

## 2. 日時 令和6年3月10日（日）13:00～16:30

## 3. 会場 メディアパーク市川2階グリーンスタジオ 市川市鬼高1-1-4

## 4. 主催 市立市川考古博物館・新潟医療福祉大学自然人類学研究所

## 5. シンポジウム

「市川市の縄文貝塚と姥山貝塚」 領塚正浩（市立市川考古博物館）

「形質人類学から見た姥山B9号住居址人骨の身体特徴」 水嶋崇一郎（聖マリアンナ医科大学）

「姥山B9号住居址人骨のDNA分析」 水野文月（東邦大学）

「姥山B9号住居址人骨の埋葬状況」 佐宗亜衣子（新潟医療福祉大学）

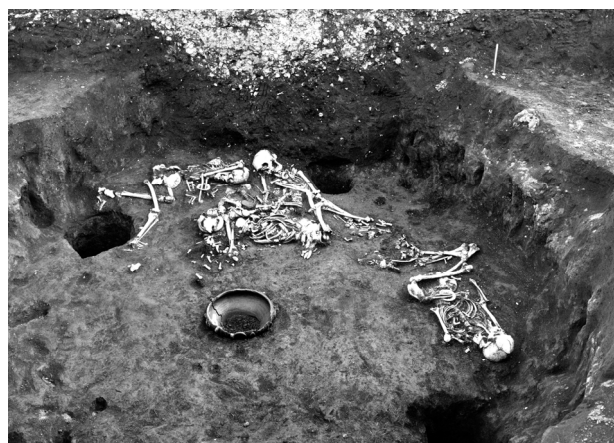
## 6. 参加対象者 一般（先着150名）

## 7. 申し込み不要、参加費無料

## 8. 問い合わせ 市立市川考古博物館（担当：領塚） 電話 047（373）2202



姥山貝塚の航空写真（中央右下）



©東京大学総合研究博物館

姥山貝塚の5体の人骨（B9号住居址）

※本シンポジウムは、文部科学省科学研究費 基盤研究（B）「縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明」の研究成果の一部に基づくものです。

## 講演要旨

### 「市川市の縄文貝塚と姥山貝塚」 領塚正浩（市立市川考古博物館）

市川市は、日本有数の貝塚密集地域として知られ、縄文時代の貝塚が頻繁に発掘されてきました。今回の発表では、こうした縄文貝塚の概要に触れながら、姥山貝塚の研究史を簡潔に紹介します。

### 「形質人類学から見た姥山 B9 号住居址人骨の身体特徴」

水嶋崇一郎（聖マリアンナ医科大学）

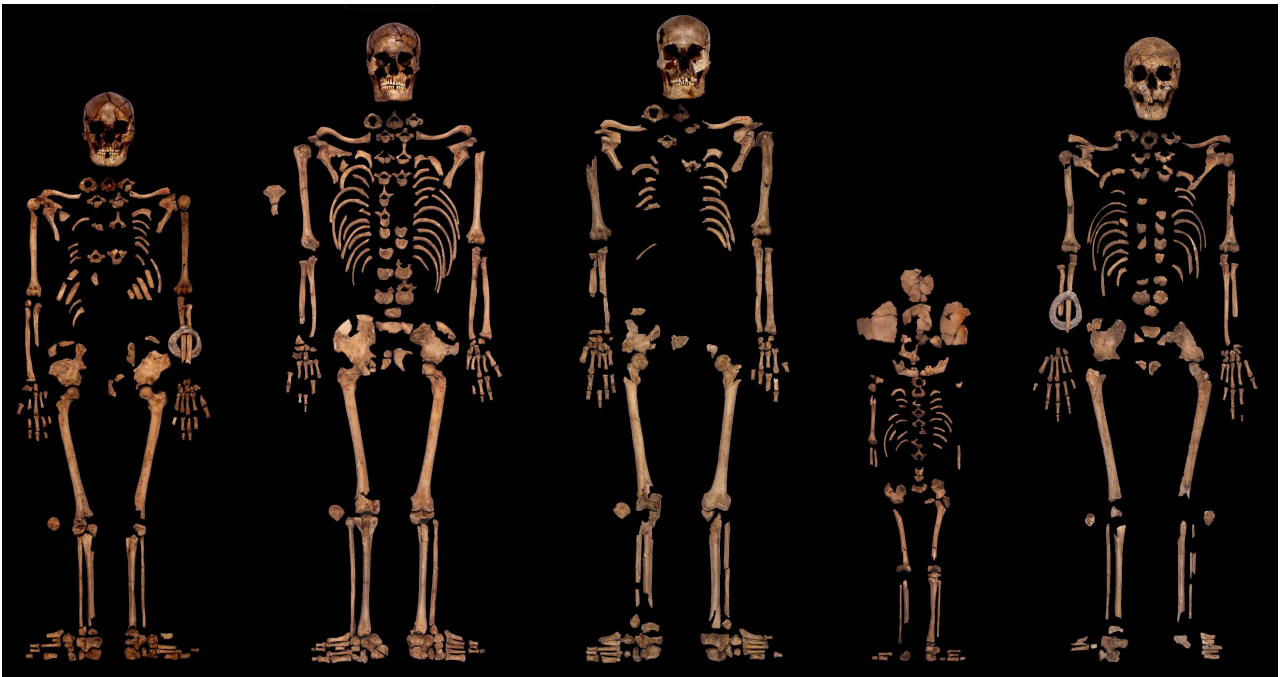
形態人類学者がどの部位を見て年齢や性別といった個体情報、寿命などを復元しているのか、その手法を解説します。また、その適用例として、姥山 B9 号住居址の人骨 5 体の身体特徴（残存部位、年齢、性別、身長など）を紹介します。

### 「姥山 B9 号住居址人骨の DNA 分析」 水野文月（東邦大学）

古人骨研究で行われる古代 DNA 分析について解説し、縄文人の日本列島各地・各時代の多様性について紹介します。さらに、姥山 B9 号住居址出土人骨 5 体の DNA 分析より得られた、（1）各個体の性別、（2）各個体のミトコンドリア DNA タイプ、（3）個体相互の母系関係、の分析結果を紹介します。

### 「姥山 B9 号住居址人骨の埋葬状況」 佐宗亜衣子（新潟医療福祉大学）

埋葬後に骨に生じた変化の痕跡を読み、人骨の埋葬状況を復元する方法や、骨に残る生活や病気の痕跡について解説します。また、それらの姥山 B9 号住居址出土人骨 5 体に適用し、5 個体の病歴と埋葬過程を分析した結果を紹介します。



溝1号（女性）

溝2号（男性）

溝3号（男性）

溝4号（幼児）

溝5号（女性）

©東京大学総合研究博物館

姥山貝塚 B9 住居址の 5 体の人骨